

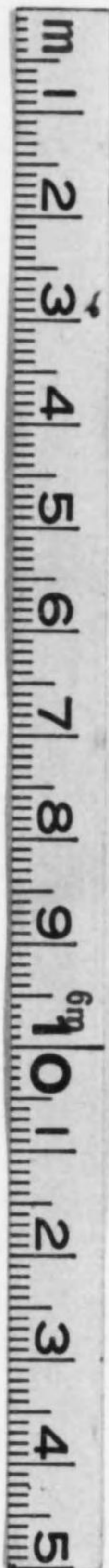
特244

140

昭和九年三月

重要美術品並國寶ノ認定申請要項

今西清之助



始



目次

- 一、重要美術品等ノ保存ニ関スル法律
- 二、重要美術品等ノ保存ニ関スル法律施行規則
- 三、重要美術品等ノ認定申請注意事項
- 四、國寶保存法
- 五、國寶保存法施行令
- 六、國寶保存法施行規則
- 七、國寶保存會官制
- 八、國寶保存會議事規則
- 九、國寶保存會
- 十、手續參考事項

頁
一 二 五 七 一二 一四 二二 二六 二八

◎重要美術品等ノ保存ニ関スル件

昭和八年四月一日（總文、大臣副署）
法律第四十三号

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル重要美術品等ノ保存ニ関スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 歷史上又ハ美術上特ニ重要ナル價值アリト認めラルル物件（國寶ヲ除ク）ヲ輸出又ハ移出セントスル者ハ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ但シ現存者ノ製作ニ係ルモノ、製作後

ハ移出セントスルモノ及輸入後一年ヲ經ザルモノハ此ノ限ニ在ラズ

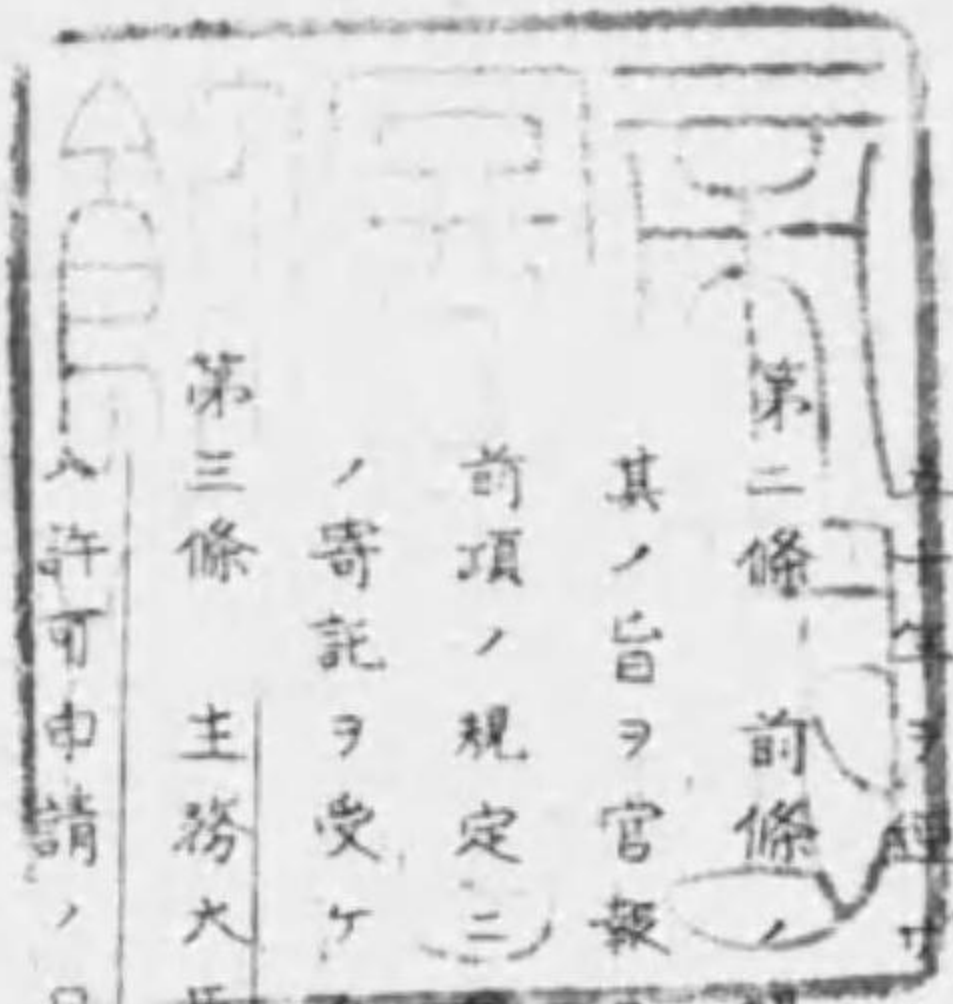
第二條 前條ノ規定ニ依リ其ノ輸出又ハ移出ニ付許可ヲ要スル物件ハ主務大臣之ヲ認定シ其ノ旨ヲ官報ヲ以テ告示シ且當該物件ノ所有者ニ通知スベシ

前項ノ規定ニ依リ認定ノ告示アリタルトキハ賣買、交換又ハ贈與ノ目的ヲ以テ當該物件ノ寄託ヲ受ケタル占有者ハ其ノ認定アリタルコトヲ知りタルモノト推定ス

第三條 主務大臣第一條ノ規定ニ依リ許可ノ申請アリタル場合ニ於テ許可ヲ為ササルトキハ許可申請ノ日ヨリ一年ヨリ長カラザル期間内ニ當該物件ヲ國寶保存法第一條ノ規定ニ依リテ國寶トシテ指定シ又ハ前條ノ規定ニ依ル認定ヲ取消スベシ

第四條 認定、其ノ取消及第二條ノ規定ニ依ル認定物件ノ所有者ニ付変更アリタル場合ノ届出ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 主務大臣ノ許可ナクシテ第二條ノ規定ニ依ル認定物件ヲ輸出又ハ移出シタル者ハ



三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ処ス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎重要美術品等ノ保存ニ関スル法律施行規則

昭和八年四月一日
文部省令第十號

重要美術品等ノ保存ニ関スル法律施行規則左ノ通定ム

重要美術品等ノ保存ニ関スル法律施行規則

第一條 昭和八年法律第四十三號(以下單ニ法ト称ス)第二條ノ規定ニ依リ認定ヲ為ス物件概ネ左ノ如シ

- 一 繪 畫
- 二 彫 刻
- 三 建造物
- 四 文 書
- 五 典 籍
- 六 書 蹟
- 七 刀 劍

ハ 工 藝 品

九 考 古 學 資 料

第二條 重要美術品等ノ所有者、管理者又ハ占有者ハ當該吏員ノ請求アリタルトキハ法律第二條ノ規定ニ依リ認定(以下單ニ認定ト称ス)ノ前後ヲ同ハズ當該物件及其ノ調査ニ付必要ナル資料ノ提示ヲ拒ムコトヲ得ズ但シ正當ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 重要美術品等ニ付認定ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ現狀ノ寫真ヲ添付シテ文部大臣ニ申請スベシ

- 一 名 稱
- 二 所有者ノ氏名(名稱)及住所
- 三 種 類
- 四 頁 數
- 五 品 質
- 六 形 狀
- 七 法 量
- 八 作者及傳來

前項ノ申請アリタル場合ニ於テ必要アルトキハ文部大臣ハ當該物件ヲ文部省ニ提出セシ

ハルコトヲ得

第四條 法第二條ノ規定ニ依ル認定物件（以下單ニ認定物件ト稱ス）ヲ輸出又ハ移出セントスルトキハ所有者ニ於テ其ノ事由並ニ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スベシ其ノ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一、認定物件ノ名称及頁數

二、輸出又ハ移出ノ期間

三、輸出又ハ移出港

四、輸出先又ハ移出先ノ場所及其ノ所在地

五、荷造運搬ノ方法

六、輸出又ハ移出期間中ニ於ケル保管ノ方法

第五條 認定物件ノ輸出又ハ移出ノ許可ヲ受ケタル者當該物件ヲ持還リ又ハ其ノ返還ヲ受ケタルトキハ邊滞ナク文部大臣ニ届出ツベシ

第六條 認定物件ノ所有者其ノ氏名（名称）又ハ住所ヲ變更シタルトキハ變更ノ日ヨリ十日以内ニ文部大臣ニ届出ツベシ

認定物件ヲ取得シタル者ハ當該物件ノ名称及頁數ヲ具シ取得ノ事實ヲ證明スルニ足ル書面ヲ添ヘ取得ノ日ヨリ十四日以内ニ文部大臣ニ届出ツベシ

認定物件滅失若ハ毀損シ又ハ之ニ着シキ現状變更アリタルトキハ所有者ヨリ其ノ事由、實況並ニ認定物件ノ名称及頁數ヲ具シ滅失、毀損又ハ現状變更ノ事實ヲ知りタル日ヨリ五日以内ニ文部大臣ニ届出ツベシ

第七條 認定物件が國寶保存法第一條ノ規定ニ依リ國寶トシテ指定セラレタルトキハ其ノ認定ハ取消サレタルモノト看做ス

法第三條ノ規定ニ依ル認定取消ノ外認定物件滅失若ハ毀損シ又ハ之ニ着シキ現状變更アリタルトキ其ノ他正當ノ事由アルトキハ文部大臣其ノ認定ヲ取消スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル認定取消アリタルトキハ其ノ旨ヲ官報ヲ以テ告示シ且當該物件ノ所有者ニ通知ス

第八條 第二條ノ規定ニ違反シ當該物件及其ノ調査ニ付必要ナル資料ノ提示ヲ拒ミタル者ハ拘留又ハ五十圓以下ノ罰金若ハ科料ニ処ス

第九條 第六條ノ規定ニ違反シ届出ヲ為サザル者ハ五十圓以下ノ罰金若ハ科料ニ処ス

本令ハ昭和八年法律第四十三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和八年四月一日ヨリ施行）

◎重要美術品等ノ認定申請注意事項

施行規則
第三條併着

- 一、種類トハ繪畫、彫刻、文書（所謂古文書）、典籍（書籍ニナツテ居ルモノ）、書蹟（紙幅等ニナツテ居ルモノ）、刀劍、工藝品、考古學資料、建造物等ノコトヲ云フ
- 二、品質トハ例ヘバ絹本、紙本、木造、銅造等ヲ云ヒ、尚着色、墨畫、墨書、鍍金等ヲモ併記スルコト
- 三、形狀トハ繪畫、文書等ニテハ紙幅、卷物、屏風、額等、彫刻ニテハ立像、坐像等ノコトヲ云フ
- 四、法量ハ繪畫、文書等ニテハ豎、横（表装ヲ除ク）、其他ノモノニテハ高さ、長さ等ヲ云フ
尚測定ハ曲尺、鯨尺、メートル尺何レニテモ可ナルモ、ソノ何レニテ測定セルカヲ明記スルコト
- 五、落款、印章、銘文、奥書、題讀等ノ存スルモノハ明記スルコト
印章ハナルベクソノ印影ヲ寫眞或ハ手寫セラレタシ
- 六、添付ノ寫眞ハナルベクカビ木版（縱曲尺約五寸五分、横約四寸）以上ノ大ワナルコト（成ル可ク全部撮影アリ度キモ卷物、如キハ卷頭、奥書等肝要ナル箇所ノミニテモ差支ヘ無シ、寫眞ハ成ル可ク臺紙無シノ事）
又明瞭ナルコロタイプ版、銅版等ニテモ差支ヘナシ

◎ 國寶保存法
昭和四年三月二十八日
法律第十七號（大藏大臣署名）

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル國寶保存法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
國寶保存法

- 第一條 建造物、寶物其ノ他ノ物件ニシテ特ニ歴史ノ證據又ハ美術ノ模範ト為ルベキモノハ主務大臣國寶保存會ニ諮問シ之ヲ國寶トシテ指定スルコトヲ得
- 第二條 主務大臣前條ノ規定ニ依ル指定ヲ為シタルトキハ其旨ヲ官報ヲ以テ告示シ且當該物件ノ所有者ニ通知ス
- 第三條 國寶ハ之ヲ輸出又ハ移出スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 第四條 國寶ノ現狀ヲ變更セントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ但シ維持修理ヲ為スハ此ノ限ニ在ラズ
- 第五條 主務大臣前二條ノ規定ニ依ル許可ヲ為サントスルトキハ國寶保存會ニ諮問スベシ
- 第六條 國寶ノ所有者ニ付變更アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ所有者ヨリ主務大臣ニ届出ヲ為スベシ國寶滅失又ハ毀損シタルトキ亦同ジ
- 第七條 國寶ノ所有者ハ主務大臣ノ命令ニ依リ一年内ノ期間ヲ限り帝室、官立又ハ公立ノ

博物館又ハ美術館ニ其ノ國寶ヲ出陳スル義務アルモノトス但シ祭祀法用又ハ公務執行ノ
為必要アルトキ其ノ他已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ命令ニ對シテ不服アル者ハ訴願ヲ為スコトヲ得

第八條 前條ノ規定ニ依リテ國寶ヲ出陳シタル者ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ國庫ヨ
リ補給金ヲ交付ス

第九條 第七條ノ規定ニ依リテ出陳シタル國寶其ノ出陳中滅失又ハ毀損シタルトキハ命令
ノ定ムル所ニ依リ國庫ヨリ其ノ所有者ニ對シ通常生ズベキ損害ヲ補償ス但シ不可抗力ニ
因リタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ損害補償額ハ主務大臣之ヲ決定ス其ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ決定通知ノ日ヨ
リ三月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十條 第七條ノ規定ニ依リテ出陳シタル國寶ニ付其ノ出陳中所有者ノ変更アリタルトキ
ハ新所有者ハ當該國寶ニ關シ本法ニ規定スル舊所有者ノ權利義務ヲ承継ス

第十一條 公益上其ノ他特殊ノ事由ニ依リ必要アルトキハ主務大臣國寶保存會ニ諮問シ國
寶ノ指定解除ヲ為スコトヲ得

主務大臣前項ノ規定ニ依ル指定解除ヲ為シタルトキハ其ノ旨ヲ官報ヲ以テ告示シ且當該
物件ノ所有者ニ通知ス

第十二條 神社又ハ寺院(佛堂ヲ含ム以下同ジ)ノ所有ニ屬スル國寶ハ神社ニ在リテハ神
藏(官國幣社ニ在リテハ宮司 有縣神社ニ在リテハ社司 村社以下ニ在リテハ社掌)

寺院ニ在リテハ住職(佛堂ニ在リテハ受持僧侶)之ヲ管理ス但シ主務大臣ノ許可ヲ受ケ
別ニ管理者ヲ定ムルコトヲ得

第十三條 神社又ハ寺院ノ所有ニ屬スル國寶ハ之ヲ處分シ 担保ニ供シ又ハ差押フルコト
ヲ得ズ但シ主務大臣ノ許可ヲ受ケ處分シ又ハ担保ニ供スルハ此ノ限ニ在ラズ

主務大臣前項ノ規定ニ依ル許可ヲ為サントスルトキハ國寶保存會ニ諮問スベシ
主務大臣ノ許可ヲ受ケズシテ神社又ハ寺院ノ所有ニ屬スル國寶ヲ處分シ又ハ担保ニ供シ
タルトキハ之ヲ無効トス

第十四條 神社又ハ寺院其ノ所有ニ屬スル國寶ヲ維持修理スルコト能ハザルトキハ主務大
臣國寶保存會ニ諮問シ之ニ對シ補助金ヲ交付スルコトヲ得

特ニ必要アルトキハ神社又ハ寺院以外ノモノノ所有ニ屬スル國寶ニ付前項ノ規定ヲ準用
ス

第十五條 補助金ハ豫算額ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ精算ノ上剩餘アル
トキハ之ヲ還付セシムルコトヲ得

第十六條 補助金及補給金トシテ國庫ヨリ支出スベキ金額ハ毎年度十五萬圓以上二十萬圓

以下トス

前項ノ金額ノ外持ニ必要アルトキハ豫算ノ定ムル所ニ依リ臨時ニ補助金又ハ補助金ヲ貸出スルコトヲ得

第十七條 國寶保存金ノ組織及権限ニ関スル事項ハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 神社又ハ寺院ノ所有ニ属スル國寶ノ管理ニ関スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 國ノ所有ニ属スル國寶ニ関シテハ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ為スコトヲ得

第二十條 主務大臣ノ許可ナクシテ國寶ヲ輸出又ハ移出シタル者ハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ八千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 國寶ヲ損壞、毀棄又ハ隠匿シタル者ハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ國寶自己ノ所有ニ係ルトキハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金若ハ科料ニ處ス

第二十二條 第四條ノ規定ニ違反シ許可ヲ受クベキ者之ヲ受ケズシテ國寶ノ現状ヲ變更シタルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十三條 第六條ノ規定ニ違反シ届出ヲ為サザル者ハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十四條 第七條ノ規定ニ依リテ出陳シタル國寶ノ管理者又ハ神社若ハ寺院ノ所有ニ属スル國寶ノ管理者怠慢ニ因リ其ノ管理スル國寶ヲ滅失又ハ毀損スルニ至ラシメタルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十五條 非訴事件手続法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ本法ニ規定スル過料ニ付之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和四年六月勅令第二百九號ヲ以テ同年七月一日ヨリ施行)

古社寺保存法ハ之ヲ廢止ス

古社寺保存法ニ依リテ特別保護建造物又ハ國寶ノ資格アルモノト定メラレタル物件ハ之ヲ本法ニ依リテ國寶トシテ指定セラレタル物件ト看做ス

古社寺保存法ニ依リテ下付シタル保存金ハ之ヲ本法ニ依リテ交付シタル補助金ト看做ス

参考—非訴事件手続法第二百六條乃至第二百八條

第二百六條 民法第八十四條、第一千零七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法第十八條

第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二、第五百三十六條及ヒ商法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項、第六十九條

第七十五條第三項、第八十七條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラレハ申請ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス

第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ為スヘシ
裁判所ハ裁判ヲ為ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ
當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ為スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負担トシ其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負担トス

抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ為シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負担ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負担トス

第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス

過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ為ス但執行ヲ為ス前裁判ノ送達ヲ為スコトヲ要セス

◎ 國寶保存法施行令

昭和四年六月二十九日（文部大臣副署）
勅令第二百十九號

朕國寶保存法施行令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

國寶保存法施行令

第一條 國寶保存法第七條ノ規定ニ依リテ國寶ヲ官立又ハ公立ノ博物館又ハ美術館ニ出陳セシメタルトキハ當該博物館又ハ美術館ノ長 當該博物館又ハ美術館ノ長故障アルトキハ當該職制ノ定ムル所ニ依リ其ノ職務ヲ代理スル者ニ於テ出陳國寶ヲ管理ス
前項ノ管理ニ関シテハ文部大臣之ヲ監督ス

第二條 國寶保存法第七條ノ規定ニ依リテ博物館又ハ美術館ニ出陳シタル國寶ノ出陳ニ要スル荷造運搬費等ハ當該博物館又ハ美術館ニ於テ負担スルモノトス返送ニ要スル荷造運搬費等亦同シ

第三條 國寶保存法第十四條ノ規定ニ依リテ補助金ノ交付ヲ受ケタル國寶ノ維持修理ニ関シテハ文部大臣之ヲ監督ス

文部大臣ハ前項ニ規定スル權限ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第四條 文部大臣國ノ所有ニ屬スル物件ヲ國寶トシテ指定シタルトキハ其ノ旨ヲ官報ヲ以テ告示シ且當該物件ノ所管大臣ニ通知スベシ國ノ所有ニ屬スル國寶ノ指定解除ヲ為シタルトキ亦同ジ

第五條 國ガ其ノ所有ニ屬スル國寶ヲ處分シ、輸出若ハ移出シ又ハ其ノ現状ヲ變更セント

スルトキハ所管大臣ニ於テ文部大臣ノ同意ヲ得ベシ

第六條 文部大臣前條ノ規定ニ依ル同意ヲ為サントスルトキハ國寶保存会ニ諮問スベシ

第七條 國ノ所有ニ屬スル國寶ニ付滅失、毀損又ハ管理換アリタルトキハ其ノ旨ヲ所管

大臣ヨリ文部大臣ニ通知スベシ國ガ國寶ヲ取得シタルトキ亦同ジ

附 則

本令ハ國寶保存法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和四年七月一日ヨリ施行）

明治三十年勅令第四百四十六號ハ之ヲ廢止ス

◎ 國寶保存法施行規則

昭和四年六月二十九日
文部省令第三十七号

國寶保存法施行規則左ノ通定ム

國寶保存法施行規則

第一條 文部省ニ國寶臺帳ヲ備ヘ國寶ヲ登録ス

第二條 國寶台帳ニハ左ノ事項ヲ記載シ寫真ヲ添付ス

建造物ノ類ニ付テハ

一、名稱及所在地

二、所有者ノ氏名（名稱）及住所

三、頁數

四、構造及形式

五、大サ

六、創建及沿革

七、其ノ他參考トナルベキ事項

寶物ノ類ニ付テハ

一、名稱

二、所有者ノ氏名（名稱）及住所

三、種類

四、頁數

五、品質

六、形状

七、法量

八、作者及傳來

九、其ノ他參考トナルベキ事項

第三條 國寶ヲ輸出又ハ移出セントスルトキハ所有者ニ於テ其ノ事由並ニ左ノ事項ヲ具シ

文部大臣ニ申請スベシ其ノ之ヲ変更セントスルトキ亦同ジ

一、國寶ノ名稱及負數

二、輸出又ハ移出ノ期間
三、輸出先又ハ移出先ノ場所及其ノ所在地

四、荷造運搬ノ方法
五、輸出又ハ移出期間中ニ於ケル保管ノ方法

六、保險ノ方法
七、撰寫模造等ニ関スル約束アラバ之ニ関スル事項

第四條 國寶ノ輸出又ハ移出ノ許可ヲ受ケタル者當該國寶ヲ持還リ又ハ其ノ返還ヲ受ケタルトキハ邊滞ナク文部大臣ニ届出ツベシ

第五條 國寶ノ現状ヲ変更セントスルトキハ所有者ニ於テ其ノ事由並ニ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スベシ其ノ之ヲ変更セントスルトキ亦同ジ

- 一、國寶ノ名稱及負數
- 二、現状ノ変更ニ関スル設計仕様 計畫圖並ニ工事担当者ノ氏名(名稱)
- 三、建造物ノ類ニシテ位置ノ変更ヲ生ズル場合ニ在リテハ其ノ移轉先
- 四、着手ノ時期及竣成期限

第六條 國寶ノ現状変更ノ許可ヲ受ケタル者當該國寶ノ現状変更ヲ竣リタル時ハ實施仕様書、寫真並ニ圖面ヲ添へ邊滞ナク文部大臣ニ届出ツベシ

第七條 國寶ノ所有者其ノ氏名(名稱)又ハ住所ヲ変更シタルトキハ変更ノ日ヨリ十四日
内ニ文部大臣ニ届出ツベシ

國寶ヲ取得シタル者ハ當該國寶ノ名稱及負數ヲ具シ取得ノ事實ヲ證明スルニ足ル書面ヲ添へ取得ノ日ヨリ十四日
内ニ文部大臣ニ届出ツベシ

國寶滅失又ハ毀損シタルトキハ國寶保存法第七條ノ規定ニ依リ出陳中ニ係ル場合ヲ除クノ外所有者ヨリ其ノ事由、實況並ニ當該國寶ノ名稱及負數ヲ具シ滅失又ハ毀損ノ事實ヲ知リタル日ヨリ五日
内ニ文部大臣ニ届出ツベシ

第八條 國寶保存法第七條ノ規定ニ依リテ出陳シタル國寶ヲ受領シタルトキハ當該博物館又ハ美術館ハ所有者ニ受領證書ヲ交付シ返付スルトキハ之ト引換フベシ

第九條 前條ノ國寶ヲ受領又ハ返付シタルトキハ當該博物館又ハ美術館ハ其ノ都度文部大臣ニ報告スベシ神社、寺院又ハ公共團體ノ所有ニ屬スル國寶ナルトキハ尚當該地方長官ニ報告スベシ

第十條 第八條ノ國寶滅失又ハ毀損シタルトキハ當該博物館又ハ美術館ハ其ノ事由、實況、並ニ當該國寶ノ名稱及負數ヲ具シ直ニ文部大臣ニ報告シ且所有者ニ通知スベシ神社、寺

院又ハ公共團體ノ所有ニ屬スル國寶ナルトキハ尚當該地方長官ニ報告スベシ

第十一條 國寶保存法第八條ノ規定ニ依リテ支給スヘキ補給金ハ國寶一件ニ付一年六圓以上百圓以下トシ文部大臣ニ於テ出陳ヲ命ズル都度之ヲ定ム

第十二條 國寶保存法第九條ノ規定ニ依ル補償ヲ受ケントスルトキハ滅失又ハ毀損シタル國寶ノ所有者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ邊滞ナク文部大臣ニ申請スベシ

一、國寶ノ名稱及負數
二、國寶ヲ出陳シタル博物館又ハ美術館ノ名稱及所在地
三、滅失又ハ毀損スルニ至リタル事由並ニ毀損ニ付テハ其ノ程度

第十三條 國寶ノ指定解除アリタルトキハ國寶臺帳ヨリ當該國寶ノ登録ヲ抹消ス

第十四條 國寶保存法第十二條但書ノ規定ニ依リテ別ニ管理者ヲ定メントスルトキハ當該神職又ハ住職(佛堂ニ在リテハ受持僧侶)ニ於テ其ノ事由ヲ具シ新ニ管理者ト為ルベキ者ト連署ノ上文部大臣ニ申請スベシ

第十五條 神社又ハ寺院其ノ所有ニ屬スル國寶ヲ處分セントスルトキハ其ノ事由並ニ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スベシ其ノ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一、國寶ノ名稱及負數

ニ、處分ノ方法

三、對價、報酬又ハ之ニ準ズベキモノ

四、處分ノ相手方ノ氏名(名稱)及住所

五、出願者ノ資力ヲ證スルニ足ルベキ事項

第十六條 神社又ハ寺院其ノ所有ニ屬スル國寶ヲ担保ニ供セントスルトキハ其ノ事由並ニ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スベシ其ノ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一、國寶ノ名稱及負數
二、担保ノ期間
三、担保権者ノ氏名(名稱)及住所
四、出願者ノ資力ヲ證スルニ足ルベキ事項

第十七條 國寶ヲ担保ニ供スル許可ヲ受ケタル神社又ハ寺院當該國寶ヲ担保ニ供シ又ハ担保契約ヲ解除シタルトキハ邊滞ナク文部大臣ニ届出ツベシ

第十八條 國寶保存法第十四條ノ規定ニ依リテ補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由並ニ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スベシ

一、維持修理スベキ國寶ノ名稱及負數
二、維持修理ニ要スル工費豫算、設計仕様並ニ計畫圖及寫真

一九

三、着手ノ時期及竣成期限

四、出願者ノ資力ヲ證スルニ足ルベキ事項

第十九條 國寶ノ維持修理費ニ對シ國庫ヨリ補助金ヲ交付スル場合ニ於テハ當該國寶ノ所有者ハ少クトモ維持修理費總額ノ百分ノ五十ヲ負担スベキモノトス但シ特別ノ事情アルモノニ限り其ノ負担ヲ輕減スルコトヲ得

第二十條 補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ管理方法ヲ定メ地方長官ノ許可ヲ受クベシ其ノ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第二十一條 補助金ノ交付後ニ於テ設計仕様又ハ着手ノ時期若ハ竣成期限ノ變更ヲ要スルトキハ其ノ事由及變更設計仕様並ニ計畫圖ヲ具シ文部大臣ノ許可ヲ受クベシ

文部大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ設計仕様ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第二十二條 補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ國寶ノ維持修理竣リタルトキヨリ二月内ニ實施仕様書 寫真 圖面並ニ精算書ヲ添ヘ文部大臣ニ届出ツベシ

第二十三條 本令ノ規定若ハ補助金交付ノ條件ニ違反シ又ハ補助金交付ノ目的ヲ遂行スルコト能ハズト認ムルトキハ文部大臣ハ補助金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトヲ得

第二十四條 神社又ハ寺院ノ所有ニ屬スル國寶ノ管理不適當ニシテ滅失又ハ毀損ノ虞アリト認ムルトキハ文部大臣ハ其ノ管理方法ヲ指定スルコトヲ得

第二十五條 神社又ハ寺院其ノ所有ニ屬スル國寶ヲ博物館 美術館又ハ之ニ準ズベキ場所

ニ出陳シ其ノ他當該神社又ハ寺院外ニ搬出セントスルトキハ其ノ事由並ニ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ノ許可ヲ受クベシ其ノ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一、國寶ノ名称及負數

二、搬出ノ期間

三、搬出先ノ場所及其ノ所在地

四、荷造運搬ノ方法

五、搬出期間中ニ於ケル保管ノ方法

第二十六條 前條ノ規定ニ依リテ許可ヲ受ケタル神社又ハ寺院當該國寶再ビ當該神社又ハ寺院内ニ搬入シタルトキハ違滞ナク文部大臣ニ届出ツベシ

第二十七條 神社又ハ寺院其ノ所有ニ屬スル國寶ヲ撰寫模造シ又ハ撰寫模造ヲ承認セントスルトキハ其ノ事由並ニ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ノ許可ヲ受クベシ其ノ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一、國寶ノ名稱及負數

二、撰寫模造ノ期間

三、撰寫模造ノ方法

四、模寫模造ニ從事スル者ノ氏名及住所

第二十八條 國寶ノ維持修理、現状変更等ノ場合ニ於テ佛像、經文、器物、銘文、棟札、埋藏物ノ類ヲ発見シタルトキハ當該國寶ノ所有者ヨリ其ノ實況ヲ具シ遅滞ナク文部大臣ニ届出ツベシ

第二十九條 本令ノ規定ニ依リテ神社、寺院又ハ公共團體ヨリ文部大臣ニ差出ス書類ハ地方長官ヲ經由スベシ第十八條、第二十一條及第二十二條ノ規定ニ依リテ神社、寺院又ハ公共團體以外ノモノヨリ文部大臣ニ差出ス書類ニ付亦同ジ

附 則

本令ハ國寶保存法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和四年七月一日ヨリ施行）
古社寺保存法施行細則ハ之ヲ廢止ス

◎國寶保存會官制

昭和四年六月二十九日
勅令第二百一十一號（大臣副署）

朕國寶保存會官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

國寶保存會官制

第一條 國寶保存會ハ文部大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジテ國寶保存法第一條、第五條、第十一條、第十三條及第十四條ニ規定スル事項其ノ他國寶保存ニ關スル重要ノ事項ヲ

調査審議ス

國寶保存會ハ國寶保存ニ關スル事項ニ付文部大臣ニ建議スルコトヲ得

第二條 國寶保存會ハ會長一人、副會長一人及委員三十人以上以内ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル為必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長、副會長、委員及臨時委員ハ文部大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第四條 會長ハ職務ヲ統理シ會議ノ決議ヲ文部大臣ニ具申ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

會長及副會長共ニ事故アルトキハ文部大臣ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 會長及副會長ハ會議ニ於テ意見ヲ陳述シ可否ノ數ニ加ハルコトヲ得

第六條 國寶保存會ニ常務委員會ヲ置ク國寶保存會ノ委任ヲ受ケ其ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ヲ處理ス

常務委員會ハ國寶保存會ノ會長及副會長並ニ國寶保存會ノ委員ニシテ文部大臣ノ指名シ

タル者十人以上以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第七條 文部大臣ハ必要ニ依リ又ハ國寶保存會ノ要求アルトキハ文部省高等官其ノ他適當

ト認ムル者ヲシテ會議ニ出席シ意見ヲ陳述セシムルコトヲ得

第八條 國寶保存會ノ議事ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第九條 國寶保存會ニ幹事ヲ置ク文部大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ
幹事ハ會長及副會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第十條 國寶保存會ニ書記ヲ置ク文部大臣之ヲ命ズ
書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附 則

本令ハ國寶保存法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和四年七月一日ヨリ施行）
古社寺保存會規則ハ之ヲ廢止ス

◎ 國寶保存會議事規則

昭和四年十月三十日
百十三号文部大臣訓令

第一條 會議ハ會長之ヲ招集ス

會議ノ日時及場所ハ會長之ヲ定ム

第二條 副會長、委員又ハ臨時委員病氣其ノ他ノ事故ニ依リ招集ニ應ズルコト能ハザルト
キハ其ノ旨ヲ會長ニ届出ツベシ

第三條 會長ハ會議ノ議長ト爲リ議事ヲ整理ス

第四條 會議ハ會長、副會長、委員及臨時委員ヲ合セ其ノ半數以上出席スルニ非ザレバ之
ヲ開クコトヲ得ス

第五條 議席ハ豫メ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム、但シ臨時委員ノ席次ハ委員ノ次トス

第六條 發言セントスル者ハ議長ノ許可ヲ受クベシ

第七條 議事ノ整理上必要アルトキハ議長ハ發言ヲ止メ又ハ議事ヲ中止スルコトヲ得

第八條 修正ノ動議ヲ提出セントスル者ハ案ヲ具シ之ヲ議長ニ差出スベシ、但シ簡單ナル
モノハ口頭ヲ以テ之ヲ陳述スルコトヲ得

第九條 動議ハ賛成者アルニ非ザレバ之ヲ議題ト爲スコトヲ得ズ

第十條 修正案ハ原案ニ先ケテ可否ヲ決スベシ

二以上ノ修正案アルトキハ其ノ最モ原案ニ異ルモノヨリ決ス但シ採決ノ順序ニ異議アル
トキハ會議ノ決ヲ採ルベシ

第十一條 建議案ヲ提出セントスル者ハ案ヲ具シ五名以上ノ賛成者ト連署シテ之ヲ會長ニ
差出スベシ

第十二條 議長意見ヲ陳述シ又ハ可否ノ數ニ加ハラントスルトキハ議席ニ着クベシ

第十三條 議事ハ出席ノ委員及臨時委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

會長又ハ副會長可否ノ數ニ加ハリタルトキハ之ヲ出席委員ト着做ス可否同數ナルトキハ
議長ノ決スル所ニ依ル

第十四條 採決ハ起立ニ依ル但シ議決ニ依リ記名投票又ハ無記名投票ヲ用フルコトヲ得

第十五條 會長ニ於テ必要ト認メタルトキハ委員及臨時委員ノ中ヨリ特別委員ヲ選定シ審査ヲ爲サシマルコトヲ得

第十六條 特別委員ヲ以テ特別委員會ヲ組織シ委員ノ互選ヲ以テ委員長ヲ置ク

特別委員長ハ審査ノ經過及結果ヲ會議ニ報告スベシ

本則ノ規定ハ之ヲ特別委員會ニ準用ス

第十七條 議事録ハ幹事之ヲ作製スベシ

第十八條 本則ノ規定ハ國寶保存會官制第六條ノ規定ニ依ル常務委員會ニ之ヲ準用ス

◎ 國寶保存會

昭和九年三月現在

會長

貴族院議員

細川 護立

帝室林野局長

三 天 宮 松

帝室博物館鑑査官

溝 口 頑 次 郎

正三勲一

三 上 卷 次 郎

東京帝國大學教授

藏 龍 精 一

東京帝國大學教授

黒 坂 勝 美

東京帝國大學教授

辻 善 之 郎

從三勲三(旭)

京都帝國大學教授

和 田 英 松

東北帝國大學教授

濱 田 耕 作

正六

福 井 利 吉 郎

持許局技師

小 田 壽 雄

貴族院議員

奧 田 誠 一 郎

京城帝國大學教授

德 富 猪 一 郎

正三勲二

田 中 豊 藏

正四勲三

伊 東 忠 太 郎

從三勲二

内 藤 虎 次 郎

從三勲三

高 村 光 雲

正三勲二

関 野 貞 靖

正七

香 取 秀 次 郎

從四勲三

山 田 準 次 郎

從四勲五

坂 野 仲 三 郎

正四勲二功五

小 山 田 繁 藏

臨時委員	正三勲三子	大河内正敬
幹事	内務省神祇局長	石田馨
	文務省宗教局長	下村奇一
	正六	藤懸静也
	帝室博物館総長	杉原三郎
	正三勲二	武田五一
	正七勲六	神津伯
文部書記官	文部事務官	松尾長造
文部事務官	文部技師	有光次郎
文部技師	文部省國寶鑑査官	阪谷良之進
文部属	文部属	丸尾彰三郎
		奥本新太郎
		内藤敏夫

◎手續参考事項

一、重要美術品等並國寶認定ノ事務ハ東京市麹町區三年町一丁目一番地文部省（市電虎ノ門）

五階宗教局内ニテ取扱フ

二、國寶保存会ハ毎年二回（又ハ三四）之ヲ開ク

次期開会豫定ハ昭和九年六月ニ付申請手續ハ四月中ニ了スルコト必要ナリ

三、申請ハ重要美術品等ノ認定ヲ申請シテモ又國寶ノ認定ヲ申請シテモ可ナリ且ツ同一結果トナル 即チ重要美術品等トシテ申請シタル場合ニ於テモ當局ニ於テ國寶ノ價值アリト認めタル場合ニハ之ヲ國寶ト認定シ 國寶トシテ申請シタル場合ニ於テモ當局ニ於テ國寶ノ價值無シト認めタル場合ニハ之ヲ單ニ重要美術品等ノ認定ヲ為シ或ハ全然却下スルモノナリ

右ノ如ク申請ハ二者何レトスルモ可ナレドモ 手續ノ順序トシテハ重要美術品等ノ認定ヲ申請スルコト正當ナルモノノ如シ

富豪名家ノ寵愛下ニ眞價相應ニ又相應以上ニ殊遇ヲ蒙ル名寶多シ 但シ富豪名家ハ少数ニ一一般民衆ニ埋モレタル名寶亦多カルベシ 本冊子ノ埋モレタル名寶世ニ出ヅルノ機縁トナラバ本懐ナリ

昭和九年三月

餘白ヲ借りテ編者識ス

昭和九年四月五日印刷
昭和九年四月拾壹日發行

非売品

著作
者
東京市下谷區上野櫻木町拾七番地
今西清之助

印刷者
東京市神田區今川小路壹丁目壹番地
泉廣健

印刷所
東京市神田區今川小路壹丁目壹番地
泉研文社

終

